

# 新しい風

平成30年1月1日発行  
発行責任者 小宮國暉  
事務所 羽村市羽東1-2-9  
TEL・FAX：042-554-1555

## 12月定例議会を終えて〔平成29年第6回〕

- ◆12月定例議会・活動報告
- ◆一般質問 『市政を問う』
- ◆本会議審議事項、特集
- ◆行政視察報告（厚生・総務）



### 新年を迎えて 初心を忘れずに

昨年（平成29年）は世相を表す漢字に「北」が選ばれました。我欲のために身内の生命も奪い、核兵器・軍備への飽くなき挑戦は世界を震撼させる事態になりました。日本は拉致被害者、ご家族の方々に対し一刻を争ってその解決に向かわねばなりません。選挙で勝った負けたのとおれませぬ。社会経済状況も、大企業によるモラルハザードが続き、不透明な状況は続くものと思われまふ。羽村市は昨年より第5次長期総合計画後期基本計画の2年目迎え、行財政に重要課題が山積してあります。党派をこえて明日の羽村に向かって初心を忘れずに全力で頑張って行きます。よろしくお願ひいたします。



平成30年1月1日 小宮國暉 高田和登

## 議会等の活動報告

活動日	内 容
11月20日	一般質問受付開始、小宮：本会議初日1番目、高田：初日2番目決定
11月21日	正副議長・議運委員長・理事者（市長、副市長、教育長）会議
11月27日	議会運営委員会（小宮副議長、高田委員）
12月5日	本会議（初日）：市長所信表明、一般質問小宮1番目：高田2番目
12月6～8日	6日、7日一般質問 8日市長提出議案1件可決
12月12日、13日	12日補正予算審議議決、13日議員全員協議会、経済委員会（陳情1件審議議決）
12月18日	議会運営委員会（追加議案取扱い他）
12月20日	本会議（最終日）陳情審議議決（不採択）、議案審議可決

総務委員会行政視察（小宮）10/11～13日熊本地震復興状況 熊本地下水保全、公会計制度先進地  
厚生委員会行政視察（高田）10/10～11日長岡市生ごみバイオガス発電、柏崎市放射線監視センター、原子力発電  
広報委員会視察受け入れ 10/31 武蔵野市議会 11/7 長野県松川町議会、議会のトビラ編集取り組み（小宮委員長）  
たま広域循環資源組合議会 10/30、長野県岡谷ごみ処理場視察 11/14（小宮副議長）、網走市議会視察受け入れ  
福生病院組合議会 11/17（高田議員）、総務委員会公会計市の現状報告、中学3学期制移行準備（小宮総務委員）  
議員研修 11/30 公会計制度 11/30 普通救命講習会（全議員）



普通救命講習会



網走市議会視察受け入れ  
（はむらん）



武蔵野市議会視察受け入れ  
「議会のトビラ」

# 教育・福祉・環境・コミュニティ・防犯・防災分野での活動

“新しい風”小宮・高田は  
それぞれ多くの行事へ参  
加し地域活性化に取り組  
んでいます

## 10月

- ◆稲刈り◆羽村市文化祭開会式◆羽村小中学校音楽フェスティバル
- ◆羽村市体育祭◆チューリップ保育園運動会◆ふれあい福祉まつり◆東小地域フェスティバル
- ◆まつの木保育園運動会◆あすなろ子ども園運動会◆小作台小小中一貫教育公開授業
- ◆「日本語の文化が科学を変える」講演会◆五ノ神幼稚園運動会◆ライオンズクラブ例会
- ◆羽村一中道徳授業・講演会◆小作台小親子縁日◆ふれあい福祉の集い◆朝起き会
- ◆はむらルミネーション点灯式◆日本青年会議所40周年記念講演会「野口健」

## 11月

- ◆郷土博物館「文化財めぐり」◆羽村市自治功労者表彰式・懇親会◆松林小地区公開講座
- ◆オペラ「椿姫」鑑賞◆青少年健全育成の集い◆子どもフェスティバル◆市P連OB会
- ◆一斉美化運動・本町第一、小作台西町内会花壇の手入れ◆私立幼稚園保護者会連合会大会
- ◆社協「福祉大会」・講演会◆美原・栄1町内会文化祭◆陸上自衛隊第1音楽隊コンサート
- ◆小学校作品展◆新日本フィルハーモニーコンサート◆献血◆日野自動車羽村工場見学
- ◆西小学芸会◆栄小学習発表会◆J-T E C T工場見学◆武蔵野小学習発表会◆はむら保育展
- ◆フジミコンサート◆松林小・東小作品展◆小作台小学習発表会◆福生病院市民公開講座
- ◆（武蔵野小）東京2020パラリンピック1000日前・根木慎志車椅子バスケット講演会
- ◆東地区ドッチボール大会◆瑞穂空手シクラメン杯◆福島県人会芋煮会
- ◆地域力向上東六町地区防災訓練（芋煮会）◆護国神社・羽村神社秋の例祭◆羽村市産業祭
- ◆小作台西町内会活動報告会◆西口にぎわい音楽祭◆稲荷神社新嘗祭◆ライオンズクラブ例会

## 12月

- ◆特別支援学級舞台発表会・作品展◆西多摩少年サッカー大会◆歳末助け合い募金（明るい社会づくりを進める会）◆女と男ともに織りなすフォーラム◆小学生ドッチボール大会開会式◆地域福祉審議会傍聴◆福生病院市民公開講座◆羽村二中学校公開◆ふれあいの会◆防衛協会臨時総会◆中学3校ジョイントクリスマスコンサート◆ファミリーミュージカル「嵐の中の子どもたち」◆エコネットはむらロケットストーブ実演（芋煮会）◆小作台西町内会餅つき大会◆はむりんピックイベント◆体育協会納会◆ふるさと祭り懇親会◆横田基地クリスマス会◆稲荷神社大祓祭◆玉川水神社清掃・年始準備◆小作台西町内会防火・防犯夜間パトロール◆ライオンズクラブ例会◆年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間出発式◆羽村稲門会（公演ジャズコンサート）



体育祭（猫ひろしさん登場）



秋季例大祭



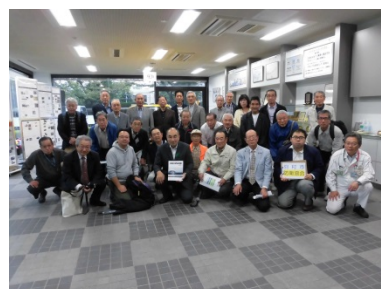
文化祭



歳末助け合い募金（明社会）



稲門会ジャズコンサート



日野自動車工場見学

1. 災害に強いまちづくりに向けての取組みを

**要旨** 自然災害から市民を守る取組みを強化し、自助・共助・公助の総合連携のもと、災害に強いまちづくりを推進すべきと考える。

**質問** 羽村市の非常配備態勢はどのようになっているか。また災害予測、規模・種別により市民に分かり易くなっているか。

**市長** 市の非常配備態勢は、地震災害においては3段階、風水害においては5段階がある。それぞれ基準を明確にし、迅速に状況に応じた態勢を確保するよう、地域防災計画に示している。

**質問** 10月23日の超大型で非常に強い台風21号に対し、市の配備態勢は。

**市長** 20日の午後5時に風水害対策連絡会を開催。台風が接近した10月22日の午前10時には、風水害情報の監視態勢を整え、情報収集や市内の監視・土のうの準備等を実施。同日、午後4時23分には警報発令時配備態勢に入る。午後7時、コミュニティセンター1階に自主避難所を開設。翌23日午前5時38分の土砂災害警戒情報の発令に伴い、第1次非常配備態勢に入り、災害対策本部を設置。「避難準備・高齢者等避難開始」を、市公式サイトやメール配信サービスを活用して市民の皆様への周知を行い、コミュニティセンターへの避難を促した。

**質問** 多摩川の増水により破壊された根がらみ前水田・用水路の復旧へ、緊急支援が必要であるが。

**市長** 内容や時期等の協議を進め、羽用水組合が行う復旧修繕を支援していく。

**質問** 11月12日「災害に強い地域づくりのための訓練」が東町地域の6町内会によって実施された。地域防災力向上を目指す上で、町内会の重要性を感じさせる事業である。市はどのように捉えているか。

**市長** 訓練に参加された方が「自助」「共助」を意識するとともに具体的な体験を行う、大変すばらしい取組みと評価している。他の町内会・自治会でも自主的に実施されている。引き続きこうした活動の支援に取り組む。

**質問** 11月15日、羽村市は多摩ケーブルネットワーク（株）と「地域広帯域移動無線アクセスシステムの整備及び公共サービスに関する協定」を締結した。災害時避難所での情報収集等市民サービスの向上が期待できる内容と評価できる。この事業締結によって、羽村市で新しく始まる市民サービスは、具体的にどのようなものがあるか。

**市長** 有事の際に避難所となる市内小中学校10校の体育館、夏まつり等のイベント時、羽村・小作両駅の周辺でWi-Fiの環境が整うこととなる。



## 2. 安心安全な、はむらの水の維持保全と事業展開

**要旨** 羽村市は市民への良質な飲料水の供給事業として、昭和41年から根がらみ前水田付近を水源とした独自の水道事業を展開。市内には、江戸時代からの羽村堰を始め、水にまつわる貴重な史跡が残されている。第五次羽村市長期総合計画後期基本計画のなかで「水をテーマに輝くまち」として構成されたプロジェクトは、市民生活に直結した重要な施策であるとの考えから、以下同う。

**質問** 地下水の保全について、どのように取り組んでいく考えか。

**市長** 市ではこれまで環境とみどりの基本計画に基づき取り組みを推進してきた。水質汚染の防止対策としては、排水設備を適正に設置する指導や確認、工場排水等の規制や改善指導等により水質の保全に努めているほか、緑地の保全や確保、宅地内への雨水浸透施設の設置費助成などに取り組んでいる。土壌汚染防止対策としては、有害廃棄物の適正処理に関する指導や、適正管理化学物質の使用量等の報告及び、化学物質管理方法書の提出等を求めている。

**質問** 水源地の水、飲料水としての水の品質管理は、それぞれどのように行っているか。

**市長** 水源から給水栓までは、水安全計画に基づき、水質に悪影響を与える可能性のある自然災害・テロ行為などの危害要因を分析・評価・管理しているほか、水道事務所で、遠方監視システムによる監視を24時間体制で実施。飲料用としての水質検査は、毎年計画を作成・実施し、毎月、東京都へ報告している。

**質問** 水道供給施設のうち重要な、取水施設（水源井戸施設）、浄水施設、送水設備、配水塔の4施設について、維持管理上の課題は何か。特に地震による耐震化については。

**市長** 水道ビジョン後期計画で示したとおり、管理棟や膜ろ過棟などの建物については、すべて耐震性能を満たしている。配水塔などの構築物については、平成28年度に第二配水場高区配水塔の耐震補強工事を実施。平成32年度には第二配水場低区配水塔の耐震診断を実施する計画である。

**質問** 災害時の対応として、停電時、市民への速やかな給水は計画されているか。

**市長** 災害による停電時には、水源、浄水場、配水場に設置されている非常用自家発電機が自動的に作動し、平常時と同様に送水できるようになっている。

**質問** 埼玉県や長野県佐久市、熊本市でも、水資源、地下水保存に関わる条例が制定されている。羽村市でも同様の条例制定への取り組みが必要と考えるがいかがか。

**(熊本市への行政視察：8ページに記載)**

**市長** 「羽村市環境基本条例」や「羽村市環境とみどりの基本計画」など、多岐にわたる環境施策を推進している。水の保全に関する宣言を行うことで、大切な「はむらの水」の保全を積極的にPRしていく。



## 1. 羽村堰周辺観光の通年化を推進すべき

**要旨** 10月から羽村駅西口の観光案内所が通年で開設され、「花と水のまつり」の期間以外の観光にも力を注ぐ機運が高まっている。羽村市の観光拠点として羽村堰周辺の整備をさらに充実すべきと考える。特に今回は、駐車スペースとサイクリングロードの整備について市の見解を問う。



冬の羽村の堰

**質問** 市民から奥多摩街道沿いの大型バス駐車場を通年開放してほしいとの声があり、検討すべきと考えるが。

**市長** 通年利用できる管理型の駐車場については、土地所有者の意向を踏まえ、費用対効果も含めた研究に努める。

**質問** 昨年度、土地開発公社が取得した羽村堰に隣接した羽中4丁目整備用地は「花と水のまつり」の期間外に駐車スペースとして活用すべきと考えるが、いかがか。

**市長** サイクリングステーションの整備と合わせて取り組んでいく。それまでの間、当該用地については、暫定的に駐車場や休憩スペースなど、観光客や市民の皆様の憩いの場としての活用を図る。

**質問** 羽村堰下橋と郷土博物館を結ぶ土手も良好なサイクリングロードになると考えるが。

**市長** 引き続き、多くの方に利用していただけるよう、案内標識などの設置を行い、更に利用しやすく安全なサイクリングロードの環境整備に努める。

## 2. 高齢者に対する各種助成の周知を

**要旨** 平成28年4月に発行された「ふれあい福祉のしおり」に記載された各種の助成のうち、高齢者向けの「水道・下水道の使用料金の助成」「福祉電話事業」「交通災害共済の加入費助成」は助成を受ける条件を満たしていても、制度の存在を知らないため、助成を受けていない方がいると思われる。市は制度の存在を周知すべきと考え、以下質問する。



**質問** 水道・下水道の使用料金の助成、福祉電話事業、交通災害共済の加入費助成を現在受けている人数を問う。

**市長** 本年11月末現在における各助成の利用状況は、水道及び下水道の使用料助成が97人、福祉電話事業が51人、交通災害共済加入費助成が90人である。

**質問** 上記の3種類の高齢者向けの助成の高齢者への周知方法を問う。助成を受けている人と、知らないために助成を受けていない人がいるのは不公平と考えるが、いかがか。

**市長** 高齢者向けの事業については、広報はむら1月1日号でお知らせを予定しているほか、「ふれあい福祉のしおり」や、市公式サイト等により周知を図っている。市としては、必要とされる方がご利用いただけるよう、今後も引き続き、各種媒体や機会を通じた周知徹底に努める。

水道・下水道の使用料金の助成	
主な条件	世帯全員の市民税が非課税 生活保護受給世帯でない 納期が到来している水道・下水道使用料が支払済
福祉電話事業	
主な条件	市内に親族が住んでいない 生計中心者の前年分所得税が年額42000円以下の世帯 定期的に安否確認が必要
交通災害共済の加入費助成	
主な条件	羽村市に居住 65歳以上の高齢者のみの世帯 世帯全員の市民税が非課税 生活保護受給世帯でない 交通災害共済の加入手続き者

詳細は高齢介護福祉課へ問合せ。  
電話 555-1111 (内線 176・177)

**質問** 水道・下水道の助成される金額は13mm口径の基本料金である。いくらか。

**市長** 助成額は、最小口径1水栓分の基本料金に相当する額としており、小口径13mmを利用した際の2か月分、水道料金1千123円、下水道使用料は760円を助成額としている。

**質問** 福祉電話事業で助成した金額の合計はいくらで、一世帯当たりの平均はいくらか。

**市長** 平成28年度の実績では、年間で延べ634台、140万4千336円の助成額であり、一世帯当たり1か月平均では、2千215円である。

**質問** 東京都市町村民交通災害共済掛金の加入者はAコース、Bコースそれぞれ何名いるか

**市長** Aコースが2千562人、Bコースが1千123人である。

**質問** 条件を満たせば、掛金500円が助成されるが、対象世帯を把握しているか。

**市長** 個人情報保護の観点から、対象者数は把握していない。

### 3. 市道の舗装修繕促進について

**要旨** 市は「羽村市道路維持保全計画」と「道路舗装修繕実施プログラム」に従って、市道の舗装を鋭意推進している。しかし、周辺市町と比較して、市道の舗装が劣化しているとの市民の声が多く寄せられている。市道の舗装をより促進すべきとの立場から、以下質問する。

**質問** 「道路舗装修繕実施プログラム」（平成29～34年度）が発行された。進捗状況を問う。

**市長** 平成29年度の舗装修繕工事は市内3路線を予定している。「ゆとろぎ通り」の一部は、12月下旬を目途に工事中である。「青梅線通り」の一部は来年2月の完了を目途に、工事に着手している。また、「市役所通り」の一部3箇所も来年1月に工事着手し、3月末の完了予定である。

**質問** 3路線の工事以外にも予定はあるか。また、理由を問う。

**市長** 平成29年度は、小作駅東口の都道の道路補修工事に合わせ、小作駅東口駅前付近の整備を予算の範囲内において実施することとし、来年1月に工事着手、2月末の完了を予定している。

**質問** 道路の舗装は市民の安全に関わることであり、コンスタントに推進する必要があると考える、過去10年間で約3千100万円であった。今後は年間で約7千万円以上と倍増している。着実に実行することが重要と考えるが、経費は確保できるのか。

**市長** 長期的な財政計画のもとに予算化を図るとともに、本計画に基づく着実な道路補修に努める。

**質問** 市民から計画に記載されていない市道の舗装修繕の要望が多くあるが、見解を問う。

**市長** 交通量の増大等で修繕が必要な状況が生じた場合には、臨時的に対応していく。

**質問** シティプロモーションの観点から考えると、道路の舗装は街の価値を上げ、移住を決意する要素として重要であると思われる。そのためには、さらに、道路維持保全計画の予算を大幅に増額して、市道の舗装修繕を促進すべきと考えるが、いかがか。

**市長** 道路は社会生活や経済活動を支えるとともに、防災面でも大きな役割を果たしており、都市基盤整備の促進は、重要な施策である。このことから、街路灯や主要幹線道路の整備、羽村駅自由通路の拡幅整備などの道路整備の充実を年次計画に基づき、必要な予算措置を積極的に行う。



## 本会議審議：〔12月5日～12月20日〕

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等	
				新しい風	全体
陳情	経済	11号	先行取得地は全て権利者の減歩緩和のために使用する事を求める陳情書	不採択	不採択
市長提出議案		69号	羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例	賛成	可決
	補正予算	70号～	平成28年度羽村市一般会計補正予算（第4号）、介護保険事業会計（第3号）、西口土地区画整理事業会計（第3号）、下水道事業会計（第3号）、水道事業会計補正予算（第2号）	賛成	可決
		74号			
議員提出議案		7号	東京都受動喫煙防止条例化に関する意見書	賛成	可決

### 特集1 ～地域防災力向上のための取り組み～

11月12日（日）、東町地区6町内会による「災害に強い地域づくりのための訓練」が、堰下レクリエーション広場にて開催された。この訓練は町内会会員だけでなく、東町の居住者を対象に広く参加を呼びかけ実施された。応急救護訓練では、「もちを喉につまらせた」、「浴槽に落ちた」など、家庭内で起こりうる身近な危険を取り上げ、消防署の隊員が対処法をレクチャー。炊き出し訓練では、「芋煮」と炊き出し窯による「ピザ作り」を実施。安心・安全なまちづくりとして、今後も同様な地域防災力向上の取り組みは市内全域に展開を促す。12月一般質問



### 特集2 ～羽村市動物公園改修工事～

開園40周年記念事業として動物公園の改修工事が着工しました。建築工事業者は豊友建設（株）、契約金額は1億4472万円。平成30年8月31日までの予定。

（錆びた外構フェンスの取り換えは 市に4年前より要望し実現の運びとなりました。27年1月発行：会報37号に掲載）



### 特集3 ～羽村市 AZEMS プロジェクト 環境大臣表彰受賞～

12月、地球温暖化防止に顕著な功績があったとして「羽村市 AZEMS プロジェクト」が、平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞した。

【AZEMS（エイゼムス）】とは、All Zero Emission Mobile System（CO2排出量ゼロの交通システム）の頭文字を組み合わせた造語。羽村市では、コミュニティバス「はむらん」を、太陽光発電設備で発電した電力で走らせるほか、市民の皆さんの電気自動車にも無料で電力供給をしている。

# 行政視察報告

厚生委員会 高田和登

## 1) 新潟県長岡市 生ごみバイオガス発電センター (2017.10.10)

新潟県長岡市の生ごみバイオガス発電センターを視察した。各家庭から分別収集した生ごみを発酵させてバイオガスを発生させ、そのガスを燃焼させることで、発電をする施設である。



## 2) 新潟県柏崎市 新潟県放射線監視センター (2017.10.11)

原子力発電所の10km圏内の空間放射線の常時監視や飲料水や土壌や農畜産物の放射能分析を行っている。緊急時には、原子力災害合同対策協議会などが設置され、住民の避難計画などが検討される施設になる。



## 3) 新潟県柏崎市 東京電力柏崎刈羽原子力発電所 (2017.10.11)

世界最大の原子力発電所であり、1号機～7号機の原子炉が建設されている。現在は稼働していないが、セキュリティは厳重を極めており、サービスホール以外は撮影厳禁であった。写真は原子炉の模型(右)である。



# 総務委員会 小宮國暉 (2017.10.11～13)

## 1) 熊本県熊本市 地震復興状況視察

熊本市内、熊本城の復興状況を視察した。現地の解説者によると、熊本城の完全復旧には30年かかる見通しとのこと。

## 2) 熊本県上益城郡益城町 地震復興状況視察(2017.10.11～13)

熊本地震の震源地であった益城町を視察。元の町役場(写真上)は建物被害が大きく、現在も使用不可のため、仮設のプレハブにて町政業務を行っている。



## 3) 熊本県熊本市 水の科学館(2017.10.11～13)

74万市民の水道水源の全てを地下水で賄う熊本市。  
( \*熊本市の地下水の保全維持策は羽村市行政に非常に参考となる。 12月一般質問 )



## 4) 熊本県宇城市 公会計制度への取り組み

行財政改革のため3か月で制度設計を作成した

( \*羽村市は制度設計3月までに完了。 9月一般質問 )

大正時代にスイスから輸入したポンプ展示

# 皆様の声

## 要望事項が実現されました

〇栄町1丁目の舗装が傷んでいました。土木課に修繕を要請したところ、速やかに補修工事が実施されました。写真は補修工事が実施されているところです。



\*\*\*\*\*  
~ 新しい風 ~ 市民の皆様からの声をお待ちしております。

小宮國暉 事務所羽東 1-2-9  
電話・FAX : 042-554-1555  
携帯電話 : 070-5594-7198

高田和登 事務所小作台 3-15-3  
電話・FAX : 042-555-4700  
携帯電話 : 080-6860-1211